

平成30年度 予算 のお知らせ

平成30年度 予算概要

収入の大部分を占める保険料は、平成30年度も被保険者数が減少すると見込み、平成29年度に比べ1億4,084万3千円減の29億5,313万4千円と見込みました。

一方支出では、皆さんの医療費等に充てられる保険給付費も被保険者・被扶養者数の減少を勘案し、平成29年度に比べ3億4,817万1千円減の15億691万7千円と算出しました。一方、高齢者の医療費等を支えるために国へ拠出する納付金・支援金等は平成29年度に比べ9,601万2千円増加の13億7,665万5千円と見込んでいます。このように減少する保険料に対して増加し続ける納付金等により、組合財政の健全性を示す経常収支差引額では、2億9,843万5千円の赤字予算となりました。

高齢者医療への納付金・支援金が組合財政を圧迫

健康保険組合の財政を圧迫している主要因は、高齢者の医療費等のために国へ拠出する納付金・支援金です。平成30年度予算の納付金等の増加率は大きくありませんが、医療費支出等に充てられる保険給付費との2項目を合わせると保険料収入とほぼ同額になってしまい、皆さんの健康を守るための健康づくり等の事業がなにもできないことになってしまいます。収入不足を補うため、繰越金を繰り入れて収支の均衡を図っています。

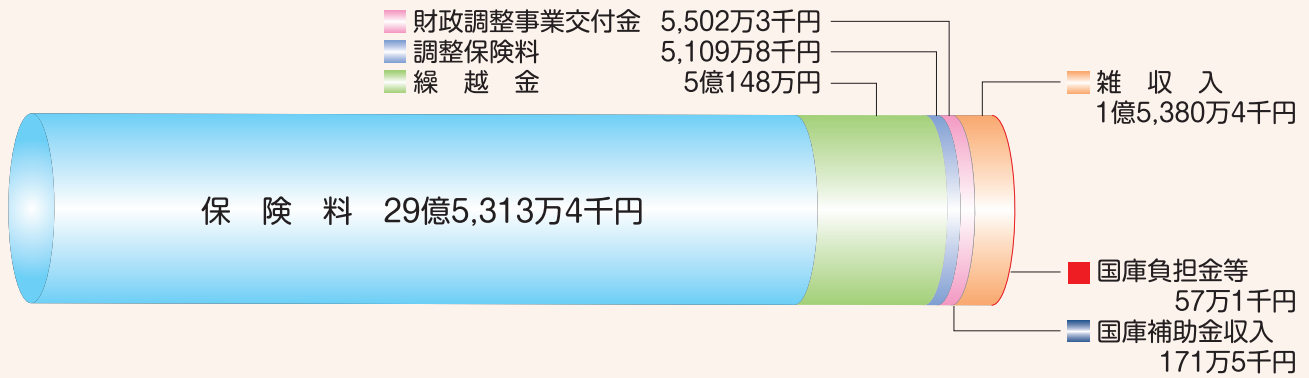
今後高齢化はさらに進み、医療費および介護給付費が増大していくのは明らかで、持続可能な医療保険制度を堅持するためには、現役世代の負担に歯止めをかけ、高齢者にも応分の負担を求める必要があります。早期に負担の公平化を目指した抜本的な医療制度の構造改革が切望されます。

保健事業の強化、適正化を図ってまいります

このように厳しい状況ではありますが、皆さんの健康維持、増進を支援していく保健事業費に2億9,745万5千円を充て、健診事業、予防接種事業等の強化を図ってまいります。

健康保険組合としましては、今後も引き続き経費の削減および事業の適正化等を実施していきます。皆さんにおかれましては、保健事業を積極的にご活用いただき健康増進にお役立ていただくとともに、適正受診等にご協力いただきますようお願いいたします。

収入 37億1,682万5千円



支出 37億1,682万5千円



健康保険

予算総額 37億1,683万円
経常収入 29億5,902万円
経常支出 32億5,746万円
経常収支 ▲2億9,844万円

予算基礎数値

被保険者数 4,200人
 男性 3,136人
 女性 1,064人
 平均年齢 43.50歳
 男性 44.24歳
 女性 41.34歳

被扶養者数 5,742人
 前期高齢者加入率 0.55535%

保険料率 (調整保険料率含む) 83.00/1000

(事業主 51/1000 被保険者 32/1000)

介護保険

予算基礎数値

介護保険第2号 2,762人
 被保険者たる被保険者数
 介護保険料率 (事業主・被保険者折半) 12.00/1000

予算の概要

(単位:千円)

収入	科目	予算額
	介護保険収入	332,541
	繰越金	21,461
	繰入金	1
	国庫補助金受入	1
	雑収入	11
	合計	354,015

支出	科目	予算額
	介護納付金	316,396
	還付金	1,000
	積立金	100
	雑支出	200
	予備費	36,319
	合計	354,015